

善兵衛さんはぶどうを作る前、いろいろな人から学び、いろいろなことを知りました。

生いたち

文責：池田 翔威

◎上杉謙信



善兵衛さんは7才のときに父を亡くし、8才から春日山・大豆小学校へ転校しました。そこで善兵衛さんは、上杉謙信の「義の心」を学んだと思われています。

↓
義の心とは？

弱い人、困っている人を助ける。
ひきょうなまねをしない。

◎竹田勘兵衛

善兵衛さんは、11才になると、名立にある親せきの竹田家へ行きました。

竹田勘兵衛は善兵衛さんの親せきで用水を作った人です。竹田勘兵衛は、「村の人が田んぼをつくれるように。みんなの生活が豊かになるように。」と。善兵衛さんは「人のため。」という心を学びました。

◎木村容斎

善兵衛さんは、14才になると、高田の木村容斎塾へと通いました。

善兵衛さんの先生。

そして、木村容斎の先生が安積良斎。

安積良斎は、「こうじゃなきや大人とは言わず、いろいろな考えを認め、やわらかいものの考え方。」を教えた。

木村容斎は安積良斎の心を引き継ぎ、善兵衛さんは木村容斎から安積良斎の心を学んだ。

感想

ぼくは、善兵衛さんがぶどうを作る前、こんなに色々な人から学んでいてびっくりしました。善兵衛さんは困っている人に給料をあげていて義の心を持っていて人だと思いました。